

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

会議名	平成24年度第1回さむかわ男女共同参画プラン推進協議会 (第2回さむかわ男女共同参画プラン連絡会)		
日 時	平成24年7月11日(水) 午後1時30分～3時10分	開催形態	公開
場 所	寒川町役場 東分庁舎 第1会議室		
出席者	委員：片岡委員(会長)、新川委員、布谷委員、大槻委員、星委員、岡本委員、村松委員 (欠席：木立委員、橋本委員、大山委員、長谷川委員(副会長)) 連絡会：総務課中村副主幹、子育て支援課原田主査、高齢介護課宮崎主査、健康課伊波技幹、中嶋産業振興課長、三木学校教育課長、田中生涯学習課長、吉川スポーツ振興課長、北村公民館長、大川寒川総合図書館長(欠席：小島福祉課長) 事務局：木内町民環境部長、樋口町民課長、伊藤町民課主査、高木町民課主任主事		
議 題	1 第3次さむかわ男女共同参画プラン平成23年度事業実績の評価について 2 第3次さむかわ男女共同参画プラン平成24年度事業計画について		
決定事項			
議 事	片岡会長 事務局より資料について説明をお願いする。 高木主任主事 資料の有無の確認。 今までの経緯を簡単に説明する。第3次プラン平成23年度の各事業結果を事業実施担当課で事業を評価し、その後、連絡会(事業主管課長で組織されている)で内容確認した。本日は、推進協議会と連絡会との合同会議で不明な点などの確認作業をしていただく。8月に第2回の推進協議会を開催するので、そこで4つの基本目標ごとに評価としての意見をいただき、その後、町民への公表という評価の仕方・流れである。なお、4つの基本目標ごとに評価をするうえで、各基本目標が計画の中でどの程度進んでいるのか、遅れている部分について、どのように進めていくべきかなどについて、総合的な観点からの意見をいただきたい。では、資料1～5について説明する。資料1は、基本目標ごとの「達成度」・「今後の方向性」の結果を集計したものになる。この結果から、		

	<p>達成度では「A：概ね目標達成」が多く、今後の方向性では、「1：更に充実強化していく」が多く、4つの基本目標中3つとなり、基本目標Ⅲ「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり」が、「2. 計画どおり取り組む」70%となっている。では、資料2基本目標Ⅰの評価内容の確認をしていきたいので、よろしくお願いします。</p> <p>片岡会長 高木主任主事 では、各委員から何か質問はないか。事務局より、いくつか事例をあげて説明させていただくがよろしいか。</p> <p>片岡会長 高木主任主事 お願いします。</p> <p>基本目標Ⅰということで、総事業数は9事業、評価の結果はAが多く、他の評価としてはBが2つあり、そのうちの1つが町民課、事業No3「女性委員登用の推進」。これについて、評価の理由は、登用にあたり配慮を行いながら進めているが、まだまだ推進されていないことから、評価を「B」とし、今後の方向性としては、審議会委員改選時などに主管課への女性委員登用への配慮をお願いする文書を出すなどの意識づけをしていく必要があるということで、「1更に充実強化していく」こととした。また、同じく事業No8「求人に関する情報提供」については、平成23年度から求人情報誌が廃刊となったため、町民の皆さんに情報提供できる手段が1つ減ってしまったということで、評価をBとしている。今後の方向性としては、「2計画どおり取り組む」となっている。基本目標Ⅰは、全体的に評価としてはAが多い結果となっている。事業の中で、もう少しこの部分は何かできるのではないかなど、意見がありましたらお願いしたい。</p> <p>片岡会長 新川委員 事務局から説明あったが、何か意見はあるか。現状と課題のところに「女性委員の登用に配慮しながら行っている」とあるが、具体的にはどのような配慮を行っているのか。私も、他の同じような審議会に入っているとき、そこでは公募委員に応募する女性自身が少なくなっていることが課題だと挙げていた。そのときに出た話が、例えば審議会の開催を夜にするのはどうかなど工夫していると聞いた。そこで、こちらではどのような配慮をしているのかと、女性の応募がどのくらいいるのかを伺いたいの1つ目。もう一つは、事業No8求人情報誌の廃刊で実績0となっていて、もともとの指標は情報提供回数12回というのが年度ごとに掲げている中で、求人情報誌が廃止され、これで続けていけるものな</p>
--	--

	<p>のかが疑問。その辺も併せて伺いたい。</p> <p>樋口町民課長 公募の委員の担当が町民課でもあるので、お答えする。公募委員については、小論文によって選考するが、単純に小論文の成績だけで評価するのではなく、年齢構成、男女比を考慮して選考するという選考基準をもっている。そういうところで男女比に配慮しているところだが、現実には応募してくる人の絶対数はそれほど多くないので、男女比の考慮はなかなか出来ないのが現実。女性の登用率も当然上がってこない。こういう現実を踏まえると、もっと違う部分、職指定の見直しも必要となってくると考える。例えば、自治会から何人出してくださいとお願いするとき、自治会長のメンバーが9割男性という状況だと男性が推薦される率は高くなる。地域の代表なり、団体の代表から選ぶので、そこの母体の見直し、そういうところから地道な働きかけをしていくことが必要と考えている。その後について、会議開催の時間帯などの検討は担当課のほうで考えていく。</p>
	<p>産業振興課長 事業N○8の求人に関する情報提供について、求人情報誌は廃刊となったが、ハローワークインターネットサービスを引き続き行っていく。また、求人情報誌の発行について、町としてもハローワークに要請をしていく。</p>
	<p>片岡会長 これに替わる事業を作る予定はあるのか。</p>
	<p>中嶋産業振興課長 役場本庁舎の1階に2台の端末があり、そこから検索ができるようになっていて、情報提供としている。あとはホームページから直接ハローワークに接続出来るようにするなどしていかなくてはと考えている。</p>
	<p>村松委員 同じく事業N○8の件について、23年度の実績が0なのに評価がBとはおかしい、Cではないか。端末は誰でも見られる状況になっているのか。</p>
	<p>中嶋産業振興課長 なっている。</p>
	<p>村松委員 端末の存在を周知するのも1つの情報源になると思う。知らない人も多いのではないか。ただ、なかなか端末を使って求人情報を探し出そうとするのは難しいと思う。紙面でと何らかの方法を考えられてほうがよいのではと思う。</p>
	<p>片岡会長 求人情報に関しては、役場まで出向いて端末を見なくてはならないということ自体、不便だと思う。出来れば自宅でもオフィスでも見られたらよいと思う。</p>
	<p>中嶋産業振興課長 どの端末からでも見られる環境になっていて、ハローワークのホームページから検索ができる。</p>
	<p>片岡会長 では、役場にあるのは専用端末ではないのか。</p>
	<p>中嶋産業振興課長 インターネットを見られるものとして設置してある。</p>

片岡会長 村松委員	そうすると町を経由しないことになるのか。 かなり詳しく見られるのか。
中嶋産業振興課長 片岡会長	登録してもらうとかなり詳しく見られる。 事業の枠組み自体を考えないとこのまま無くなってしま うのではと思うので、検討していただきたい。また、全 体的に言えることだが、平成23年度の実績が出ていて、 がんばって実績を上げているところがあるのに、翌年度 の目標値を見ると今年の実績値より低いものが多々あ る。この目標値設定というのは、毎年毎年見直したほう がよいのではないか。その時の情勢によって変わると思 う。例えば、事業No1の管理職への女性登用の推進で、 23年度目標値9%、実績18%、翌年の目標値が11% となっていて、すでに23年度実績で上回っている。毎 年の年齢構成によってばらつきがあるとはいえ、11% とはがくっと落ちすぎではと思う。同じように町民課の 講座開催で、目標値で参加人数20人という設定はずい ぶん少ない。目標設定数値についてどのように考えて いるのか。
樋口町民課長	目標値の設定だが、プラン策定時に、その時の情勢を踏 まえて決めているが、見直しを考えてもいいとは思 う。このプランを作成するとき、事業費まで載っているが、 この部分も財政事情によりかなり動いている部分もある ので、実施計画の見直しについても考えてもいいのかと 思う。では、具体的にいつ取り組むのかとなると難しい ものがあるが、計画なのである程度長期的なものも必要 だと思う。ただ、いくつかの部分定期的に見直してい くことはできるかと思うので、連絡会で検討し、推進協 議会に諮って改訂していくという流れになる。
片岡会長	出来れば、絵に描いた餅にならないよう、男女共同参画 を推進していくためのプランなので、情勢によって色ん な変更など生じてきているし、ぜひ、柔軟な対応をして いただきたいと思う。では、他に質問がないようなので、 次の資料3、基本目標Ⅱに移りたいと思う。何か意見な どあるか。
高木主任主事	事務局のほうから、幾つかお話ししたい。事業No10 暴力防止に関する意識啓発で担当は町民課になるが、こ れについては、チラシでの啓発や、ホームページの中 での掲載・周知などがまだまだ出来ていないことで、評価 Bとした。だが、意識啓発として町の新人職員に対し、 第3次さむかわ男女共同参画についてと、DVの基礎知 識としての講義を開催した。本来だと、実績が0で、評 価はCとなるころだが、職員に意識啓発を図ることに

	<p>より、今後窓口で町民と接するときの意識づけができたということで、評価をBとさせてもらった。また、今後の方向性としては、更に充実強化していくとさせてもらった。次に、事業No13セクハラ防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供について、広報紙・ホームページでの啓発が不十分ということで評価C、今後の方向性は、啓発をどのようにしていくかの検討の必要があることから、3一部見直しが必要とした。</p>
片岡会長	<p>事務局説明は以上だが、何かあるか。広報紙は今は何回発行されているのか。</p>
高木主任主事	<p>月に1回の発行となっている。紙面の関係上で、なかなか特集を組めない状況もあるので、それに変わる何かを考えなければと思っている。ただ、インターネットとなると、皆さんが見られる状況にあるわけではないので、そういったところを想定してあらゆる方が見られる措置を考えていかなければならないと思っている。</p>
片岡会長	<p>事業No13、セクハラというのは労働環境や職場環境から起こるもので、他市町村だと割と産業振興のセクションが広報を担当されていることが多いが、そこはどうなっているのか。</p>
中嶋産業振興課長	<p>本町も労政の担当とはなっている。専門の相談員がいるわけではないので、神奈川県労働センターを相談先として紹介するが、現在のところ、問い合わせは1件もない状況。</p>
高木主任主事	<p>産業振興課長からも話があったが、役場には専門の相談員がいない。現在は、相談窓口として町民課が一手に相談を受けて、その内容によって関係機関へつないでいる。関係機関としては、かながわ女性センターの「セクシュアルハラスメント相談」などを紹介していくことを考えている。また、啓発については町のホームページから、かながわ女性センターのホームページへリンクできるようにし、相談機関はこういうところもありますよと相互に周知し、悩んでいる人に対しスムーズに対応していきたい。</p>
片岡会長	<p>相談については分かった。啓発は、広報紙でなくても、例えば事業No10の中にDV防止に向けての啓発チラシを作成とある、こういうような工夫で何か違う媒体で考えていくのも1案としてあるのかと思う。</p>
高木主任主事 星委員	<p>色々考えていきたい。 町の情報提供としてホームページはどのような仕上がりになっているのか。</p>
高木主任主事	<p>今現在取り組めていない状況。DV防止に関しての特集</p>

	<p>ページは作成していない。これから内容を検討して掲載していく予定。</p> <p>星委員 ホームページ掲載予定と書き直したほうがよいのでは。</p> <p>片岡会長 少し誤解を招く標記になっているのでしょうか。</p> <p>高木主任主事 いただいた意見を受け止めて、ホームページに掲載していきたい。</p> <p>片岡会長 ホームページに掲載する作業は難しいものなのか。</p> <p>高木主任主事 時間的にはかかるものではない。ただ、掲載する内容をどのようにするかを検討するのが大事なことなので、その部分で時間を要するものではある。</p> <p>片岡会長 ぜひ、今年は頑張ってホームページの充実を図ってほしい。事業N o 1 7の父親母親教室で、目標数値の設定が参加者の満足度になっていて、人数ではなく満足度で設定しているのが、とても良いと思った。何人来たかを目標数値にあげているところが圧倒的に多い中で、この設定をしているのは、つまり参加者の満足度のアンケートも実施していることでもあり、ただ単に回数をすればいいのではなく、内容の充実というのが大切であると思うので、満足度というのは良い指標だと思う。ただ、一方で相変わらず父親の参加が少ない、労働環境などもあると思うが、そこを進めていくために何か工夫をしてもらいたい。他に無いようなら、次の基本目標Ⅲに移りたいと思う。では、事務局から説明をお願いします。</p> <p>高木主任主事 事業N o 3 0 育児休業の取得の促進で、目標値3%のところ実績が0%ということで、当然実績が無かったので評価はCとなり、今後の方向性は、2計画どおりに取り組むと評価をされている。女性職員の取得率は100%だが、男性職員は残念ながら実績としてなかった。課題としては、職場の環境づくりの配慮など男性職員の取得の実績や実例がない中で取得するというのは、精神的にも経済的にも負担がかかるだろうし、そういう部分を軽減していくと担当からは課題としていただいている。続いて、事業N o 4 0 家族介護教室・認知症高齢者介護教室の開催で、平成23年度は講座の回数を増やしたので、当然参加人数も増えてくるので目標値を参加人数20人から括弧書きになるが30人とし、実績は27人だった。課題にあるように、男性の参加が少ないとあったので評価をBとされた。今後の方向性としては、こういう部分に力をいれていくとし2とされた。以上主に評価が低いものを2つ取り上げて説明した。基本目標Ⅲについては、ほぼ評価はAとなっている。</p> <p>片岡会長 事務局から説明があったが、意見・質問はあるか。</p>
--	--

岡本委員	事業N o 3 2 町立保育園通常保育事業で2 6 年度目標値が6 3 0 人となっていて、ここで2 5 年度から9 0 人上がっているが、総合こども園は廃止と言われている中で、この目標値はどういうことなのか。認定保育園を充実させていくと国のほうではなっているが。
子育て支援課原田主査	今の質問のとおり、新システムが国会のほうで審議している最中である。この部分については新システムの前から計画されているもので、2 6 年度までの次世代育成支援行動計画というものがあり、その中の数値を使わせてもらっている。今後、3 園ある施設の中で増員していくのか、または、新たに施設を建てるのか今後検討していく予定だが、まだ方向性はでていない。
片岡会長	国が決まらない状況では、町でも難しいと思う。だが、共稼ぎが増えて来ている中、ますます保育園のニーズは高まってくると思う。充実してもらいたい。病後児保育みたいなものはあるのか。
子育て支援課原田主査	今のところ計画では考えていない。
岡本委員	事業N o 4 0 家族介護教室・認知症高齢者介護教室の開催で、教室の開催は平日か。
片岡会長	前期・後期各3 回・日曜日開催とある。
岡本委員	私のように昼間働いている者でも、参加できるのはありがたい。
片岡会長	介護については、スキルを身につける暇もなく突然やってくることが多いように思う。母親父親教室のように、もうすぐ子どもが生まれるというのであれば1 0 ヶ月あるので徐々に準備できるが、介護については、実地がスキルを上げる場になってしまいうし、教室に通う余裕がないとう実状があると思う。介護休業でいうと、男性の取得率は高くなっている。それは、男性が介護に係わらなくてはならない場面が、現実的にはよく起こりうることだと思う。
布谷委員	事業N o 3 5 の児童クラブの運営状況について、評価の理由の中に「目標値よりも入所児童数は減少したものの、待機児童もなく希望者全員を受け入れることができた」とあるが、実際の受け入れは3 年生ぐらいまでであるようだ。場所にもよるかもしれないが、他の学年でも入所希望があるので、その辺との兼ね合いはいかがか。
子育て支援課原田主査	国で定めている児童クラブの対象年齢は、概ね1 0 歳までということでこの事業を実施しており、そうすると小学3 年生までが中心となってくる。小学校4 年生以上については、各クラブの保護者会の中で承認されれば受け入れていくということで、寒川町は進めている

	<p>状況。先程岡本委員からも話しはあったが、新システムが国会のほうに提出されていて、その新システムの中では、児童クラブについても今まで10歳と謳っているところを、児童福祉法の中で年齢制限を削除するということになる予定なので、今後小学6年生までが対象となってくるかとは考えているが、審議されている最中なのでこれがそのまま通るかは分からない。</p> <p>片岡会長 ちなみに寒川町の児童クラブはいくつあるのか。</p> <p>子育て支援課原田主査 各小学校にあるので、5つある。希望者全員受け入れることができたというのは、入学説明会に合わせて入所の説明会を行っている。希望される保護者が来られ、申込書を持って帰られる。申込書を出された人については、全て入所できているということで評価をAとさせていただいた。</p> <p>片岡会長 事業No44ファミリーサポートセンター事業について、実績の数が少ないがこれはどういうことなのか。</p> <p>子育て支援課原田主査 こちらの事業については、平成14年度より実施していて、平成20年度頃がピークで2,000件を超えていた状況がある。ここ1～2年で減ってきていて、多いときの半分以下になっているのが現状。担当者としても評価をAにしようか迷ったところであるが、減った原因として、どういった人の利用が多いのかを調べると、学童の送迎が一番多い。ではなぜ学童の送迎の件数が減ったかだが、平成22年度から延長保育を始めたため、その部分で利用が減ったという現状がある。また、運営時間が18時までだったものを18時30分に延ばしたということと、年間数多く利用していた方が1件2件と減り件数的には減ってきている。ただ、会員数自体は、微増しているので、ファミリーサポートの事業としてのいざとなったときに頼める場所がある、そういった部分での目的に対しては1つの目標をクリアしているだろうということで評価をAとさせてもらった。</p> <p>片岡会長 他のサービスが向上してきたということですね。他に質問などあるか。ないようなら次の基本目標IVに移る。</p> <p>事務局 事務局より説明をお願いします。</p> <p>高木主任主事 事業No46男女共同参画に関する講座の開催（再掲）について、事業内容をみると事業所向けの男女共同参画に関する講座を開催とあるが、事業所向けの講座を開催できていない状況から評価をCとした。今後の方向性としても、なかなか単独で講座開催は難しいと思うので、どこかと共催するなどして講座の工夫を検討する必要がある。</p>
--	---

	<p>あることから、3一部見直しを必要であるとした。 なお、基本目標IVに関しては、ほぼ評価はAとなっている。</p>
片岡会長	<p>事業No46が今説明があったが、あまり大規模に考えないでいいと思う、例えば事業所へ職員が1人か2人で出向いて出張講座などを開催するのでもいいし、講演会のように大きいものを考えなくてもいいと思う。需要に応じたものに対応していけばいいのでは。</p>
新川委員	<p>共催という言葉が先程でていたが、プランの事業がたくさんあり、その中で事業所No2勤労者実態調査の実施があり、回収率は半分ほどという結果がある。そういった回収できていない企業こそ、男女共同参画が進んでいないと思うので、そういった企業を1～2件ピンポイントにあたって少しお話しをしてもらうだけでも、講座とはいかないがミニ出張講座として回数も上げていけるのではと思う。</p>
片岡会長	<p>質問だが、事業No53で、不惑式とはどういうものなのか。また、還暦式はどんなことをしたのか。</p>
田中生涯学習課長	<p>不惑の歳である40歳の人を対象に、日頃働いている世代である40歳の人が、今後、地域にとけ込んでいってもらうためのきっかけづくりとして講演会を開催した。還暦式についても講演会を開催した。</p>
片岡会長	<p>図書館の読み聞かせが盛んですね。</p>
大川寒川総合図書館長	<p>今の読み聞かせについては、基本的に毎週土曜日9時から11時までボランティアの人で開催している。また、夏休みは幼児を対象に2部構成で読み聞かせ、小学校低学年向けの読み聞かせも8月1日に企画している。</p>
片岡会長	<p>圧倒的に子どもだけで遊びに来ることが多いのか。</p>
大川寒川総合図書館長	<p>読み聞かせなどは、親子で来られる。</p>
片岡会長	<p>親子で活動できる場所を求めている人もいると思う。そういう意味でも場所を提供するというのは大切なことである。</p>
	<p>では、基本目標I～IVの評価、今日確認してもらった内容を踏まえて、別紙、個別記入用紙を後日提出していただきたい。よろしく願いしたい。</p>
	<p>次の議題(2)第3次さむかわ男女共同参画プラン平成24年度事業計画について、事務局より説明をお願いしたい。</p>
高木主任主事	<p>平成24年度の事業計画だが、事業主管課ではすでに事業を進めていっているところ。また、総評価として意見をまとめあげているところだが、すでに平成24年度が進行中でもあり予算に影響するような内容は、なかなか</p>

	<p>皆様の意見を取り入れていくのは難しいと思うが、啓発などすぐに取り入れられる内容があれば少しでも目標達成に向け取組、各事業主管課と連携を図っていきたいと思う。</p> <p>片岡会長 今から目標値を変えることはできるのか。</p> <p>高木主任主事 平成24年度はすでに進行しているので、難しい。</p> <p>片岡会長 では25年度以降となりますね。質問は何かあるか。ないようなので、次の5. その他に移る。事務局より説明をお願いします。</p> <p>高木主任主事 委員の皆様には、今日の結果を踏まえ、別紙記入用紙に意見を記入して頂き、7月23日(月)までに事務局へ提出をお願いしたい。また、次回の推進協議会を8月20日の週に開催したいと考えている。別途開催通知を送付するので、出席をお願いしたい。</p> <p>片岡会長 以上で、第1回さむかわ男女共同参画プラン推進協議会を終了する。</p>
<p>資 料</p>	<p>○さむかわ男女共同参画プラン推進協議会 委員名簿</p> <p>○第3次さむかわ男女共同参画プラン事業実施状況の概要 (平成23年度実績)・・・資料1</p> <p>○基本目標Ⅰ あらゆる分野での男女共同参画の推進・・・資料2</p> <p>○基本目標Ⅱ 男女の人権尊重・・・・・・・・・・・・・・・・資料3</p> <p>○基本目標Ⅲ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス) 推進のための環境づくり・・・資料4</p> <p>○基本目標Ⅳ 男女共同参画社会実現のための意識づくり・資料5</p> <p>・さむかわ男女共同参画プラン推進協議会委員 個別記入用紙 (別紙)</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>(平成24年8月10日確定) 大槻委員 ・ 星委員</p>